

令和5年9月28日

保護者の皆様

嘉麻市立山田中学校

校長 石場 広規

SNSを用いたいじめ等に関する対応について（お願い）

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜っていますことに感謝申し上げます。

さて、本校は、いじめのない学校づくりとして些細なことでも「心身の苦痛を感じている」のであれば「いじめではないか」と調査を行いその解消に向けて指導を行っています。具体的には、道徳教育や人権教育を通じていじめや差別を生まない風土づくりに努めると共に、毎月行う生活アンケートで少しでも気になる事柄があれば、直ちに教育相談を行ったり、学期に一度の無記名での「いじめアンケート」を実施したりして、早期発見・早期解消を心がけています。（令和5年5月30日付け保護者連絡文書参照）

また、情報端末SNSを用いたいじめの発生件数の増加が、学校現場では大きな問題となっています。SNSを用いて他人を誹謗中傷したり、不適切な動画や画像を閲覧したりする行為は、何かしらの形でインターネット上に客観的な記録が残るため、一過性の加害行為で終わらず、加害性が非常に広範囲かつ長期間（場合によっては永久的に）継続することが多いといえます。また、その拡散速度も、従来の噂話や口伝えとは比べものにならないほど速く、いったん拡散し始めると手の施しようがない危険なものに変わります。

そのような特性に鑑みると、SNSがいじめの道具として利用された場合の加害性は非常に強いものであって、場合によっては取り返しがつかない、命に関わるような状況になると考えられます。

そこで、お子様の所有するSNSの管理は、保護者の責任の下で行われるといったことから、SNSがいじめの道具として利用された可能性がある場合は、被害の拡大を防ぐためにSNS上にある記録（書き込みや画像等）の学校による確認やその削除等、迅速な対応をお願いすることがあります。その際、学校は警察等の関係機関との連携のもと、早期の解決を目指して適切な対応を行ってまいります。

以上、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

*裏面に参考例として、書き込み等の削除の手順を掲載していますのでご参照ください。

書き込み等の削除の手順（参考）

